ミュージカル接骨院

もし私が、小説家や脚本家だったら…、

題材として取り上げたいのが、時折私が通う接骨院です。腕も良く、通常の街中にありますが、主に声や動きに特徴があります。

裏声と地声が交互に、リズミカルに発声され、こぶしも聞いたりして…、聞いていて

時々“この人自分によっているな”と感じる事もあります。そしてそれに伴って流れるような動きや施術…、ぐいぐいと、その世界に惹きこまれていく自分を感じます。

歌うように踊るように働く…、こんなやり方もあるんだなと考えさせられます。

私がもし作品にしたら、きっと大衆ドラマか喜劇になるだろうなとも思います。

令和3年2月　amakaraenisi.net

本年も多くの年賀状頂き、ありがとうございます